平成28年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2016

平成28年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2016

目　次

■展示事業
1　特別企画展 04
2　小企画展 07
3　コレクション展 08
■交流事業
1　招聘事業 12
2　受入支援事業 15
3　地域交流事業 16
■教育普及事業
1　体験学習、博物館実習等 17
■ミュージアム施策事業 18
■ボランティア事業 19
■広報活動 22
■所蔵作品
1　新所蔵作品 26
2　貸出一覧 28
3　修復一覧 29
4　所蔵品等の掲載一覧 29
■入館者数 30
■活動記録 34
■名簿 37

展示事業

中国第12回全国美術展受賞優秀作品による「現代中国の美術」
百花繚乱　中国リアリズムの煌めき

会　　期　2016年4月16日(土)～2016年5月22日(日)
会　　場　企画ギャラリー
主　　催　福岡アジア美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送、財団法人日中友好会館、中国美術家協会
後　　援　外務省、文化庁、中華人民共和国駐日本国大使館、中華人民共和国駐福岡総領事館
協　　賛　中国南方航空
開催日数　32日間
観覧者数　3,060人
出展点数　76点

中国政府が主催する「全国美術展」は、1949年の建国以来5年に一度開催される、中国で最も大きく、権威ある公募展として知られている。中国全土から数万点の応募があり、何度もの選考を経て、最後に受賞作品約600点が北京の中国美術館に集められた。本展では、その2014年末に開催された「第12回全国美術展」からさらに厳選した中国画、油彩画、水彩画、版画、漆画、アニメーションなどの作品、合わせて76点を日本で紹介した。2メートルを超える大画面に雄大な自然や都市空間、人々の暮らしなどが圧倒的な描写力で描かれた驚異のリアリズム絵画(写実表現)が一堂に会し、百花繚乱のごとき現代中国美術の作品を紹介した。

ポスター　B2　田嶋デザイン事務所CYAN(デザイン)／久野印刷株式会社
チラシ　A4　田嶋デザイン事務所CYAN(デザイン)／久野印刷株式会社
図　　録　福原一郎[有限会社スタジオオントース・オン](デザイン)／株式会社旭クリエイト(印刷)

関連事業　□講演会
『現代中国の美術』から見る中国の今むかし
講師:安永幸一氏(福岡アジア美術館元館長)
日時:4月24日(木)14:00～15:30
会場:あじびホール(8階)
□学芸員とまわる展覧会
講師:五十嵐理奈(担当学芸員)
日時:4月17日(日)、18日(月)14:00～14:30
会場:企画ギャラリー(7階)
□イベント
春から夏への食養生～薬膳を生活に～
講師:尹玉氏(薬膳「天地・礼心」代表、東方薬膳学院 学院長)
日時:4月23日(土)、5月14日(土)14:00～15:30
会場:FAAMカフェ(7階)および展覧会会場(7階)
□イベント
墨画パフォーマンス～「龍」を描く～
講師:悠杏氏(デザイン書家、博多筆文字本舗代表)
日時:4月24日(日)11:00～11:15、
5月15日(日)13:30～13:45
会場:彫刻ラウンジ(7階)
□イベント
自分だけの雅印づくり＆トーク
講師:悠杏氏(デザイン書家、博多筆文字本舗代表)
日時:4月24日(日)11:30～14:00、
5月15日(日)14:00～14:30
会場:彫刻ラウンジ(7階)

関連記事

2016. 4. 4　西日本新聞(夕)「百花繚乱　中国リアリズムの煌めき」
2016. 4. 5　西日本新聞(朝)「中国美術の秀作76点展示」
2016. 4.12　西日本新聞(朝)都留正伸「日展、中国美術展　福岡で競演」
2016. 4.16　日本経済新聞(夕)「美術ガイド　百花繚乱　中国リアリズムの煌めき」
2016. 4.16　西日本新聞(夕)「特別展『中国リアリズムの煌めき』」
2016. 4.18　西日本新聞(朝)「美術展『百花繚乱』中国の秀作76点」
2016. 5.12　西日本新聞(夕)「緻密で鮮やかな作品並ぶ」
2016. 5.14　西日本新聞(夕)「現代中国の一端が見える」

NTT西日本スペシャル
「おいでよ！絵本ミュージアム2016　～しあわせな時間～」

会　　期　2016年7月26日(火)～8月21日(日)(会期中は無休)
会　　場　企画ギャラリー、彫刻ラウンジ、あじびホール
主　　催　福岡アジア美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、NPO法人子ども文化コミュニティ
特別協賛　NTT西日本
協　　力　内田麟太郎、エリック・カール、どいかや、長谷川義史、はたこうしろう、真鍋真、岩波書店、偕成社、童心社、佐野彰、NTTコミュニケーション科学基礎研究所、ホテルオークラ福岡、エフコープ生活協同組合、子どもの本専門店エルマー、Anno lab
後　　援　福岡県、福岡県教育委員会、福岡市文化芸術振興財団、福岡県私立幼稚園振興協会、福岡県PTA連合会、福岡市ＰＴＡ協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県教職員互助会、西日本鉄道、九州旅客鉄道、西日本リビング新聞社、cross fm、FM FUKUOKA、LOVE FM
開催日数　27日間
観覧者数　46,022人

今回は、たくさんの絵本に出会って、たくさんの「しあわせなじかん」を味わいながら育ち、しあわせな人生をつくりだす力をつけていってほしいと願って、「しあわせなじかん」をテーマにした企画を行った。しあわせを感じる絵本の原画展、地球が生まれてから、今この瞬間までの長い長い命のリレーを、劇場仕立てで壮大に物語る『せいめいのれきし』、日常の暮らしの中にこそ冒険とファンタジーあふれる世界があることを教えてくれる『チリとチリリ』シリーズ、世界中で人気の『はらぺこあおむし』や『おさるのジョージ』シリーズ、オリンピック開催の年にちなんで『世界のともだち』シリーズなどを中心に、絵本の世界が飛び出したような空間展示を実施した。自由に手に取って読むことができる約1,000冊の絵本展示は、時や歴史、恐竜、生物、世界の絵本を中心に特集。

NTT西日本グループの協力のもと、デジタルコンテンツを盛り込んだ展示体験コーナーもつくり、子どもたちがコミュニケーションの楽しさを体感できた。

彫刻ラウンジでは、子ども文化コミュニティがプロデュースするイベントを毎日行い、絵本作家による制作体験を通して、子どもたちに表現することの楽しさを味わってもらった。

ポスター　B2　はたこうしろう(原画)・マツダヒロチカ(デザイン)／西日本新聞印刷(印刷)
チラシ　A3　はたこうしろう(原画)・マツダヒロチカ(デザイン)／西日本新聞印刷(印刷)

関連事業
□オープニングスペシャルイベント
「長谷川義史絵本ライブ」
出演：長谷川義史(絵本作家)
日時：7月26日(火)14:00～15:00
会場：彫刻ラウンジ

□ワークショップ
「ファッションデザイン画を描こう」
講師：おおたまい(フィンランド在住日本人ファッションデザイナー)
日時：7月28日(木)10:30～12:00
会場：彫刻ラウンジ

□ワークショップ
「恐竜博士　真鍋真先生のワークショップ」
講師：真鍋真(恐竜博士、国立科学館標本資料センター・センター長)
日時：7月30日(土)13:00～15:00
会場：彫刻ラウンジ

□絵本ミュージアムスクール①
「恐竜博士真鍋真先生のワークショップ」
講師：真鍋真(恐竜博士、国立科学館標本資料センター・センター長)
日時：7月31日(日)10:30～12:00
会場：彫刻ラウンジ

□トークショー
「『せいめいのれきし』と最新恐竜学
講師：真鍋真(恐竜博士、国立科学館標本資料センター・センター長)
日時：7月31日(日)13:00～15:00
会場：あじびホール

□ワークショップ
「絵本ワークショップ」
講師：子ども文化コミュニティ・スタッフ
日時：8月1日(月)～5日(金)、8日(月)～10日(水)、15日(月)～19日(金)
①11:00～12:00②13:00～14:00
③15:00～16:00
会場：彫刻ラウンジ

□絵本ミュージアムスクール②
「絵本をつくろう」
講師：どいかや(絵本作家)
日時：8月6日(土)10:30～12:00
会場：彫刻ラウンジ

□ワークショップ
「チリとチリリの絵本をつくろう」
講師：どいかや(絵本作家)
日時：8月7日(日)10:30～12:00
会場：彫刻ラウンジ

□ワークショップ
「もくねんさん　ジュースの糖度実験」
提供：エフコープ生活協同組合
日時：8月11日(木)～13日(土)10:00～17:00
会場：彫刻ラウンジ

□絵本ミュージアムスクール③
「みんなでつくろう　どうぶつのもり」
講師：はたこうしろう(絵本作家)
日時：8月13日(土)10:30～12:00
会場：あじびホール

□ワークショップ
「みんなでつくろう　どうぶつのもり」
講師：はたこうしろう（絵本作家）
日時：8月14日（日）10:30〜12:00
会場：彫刻ラウンジ
□トークイベント
「恐竜博士現る！！深読み！せいめいのれきし」
講師：真鍋真（恐竜博士、国立科学館標本資料センター・センター長）
日時：8月17日（水）①11:00〜11:30
②13:30〜14:00③16:00〜16:30
会場：企画ギャラリー内
□イベント
「絵本の読み聞かせ」
出演：TNCテレビ西日本アナウンサー（田久保尚英、津野瀬果絵など）
日時：毎週金曜日①11:30〜②13:00〜
会場：彫刻ラウンジM8

関連記事

2016. 6.28　西日本新聞（朝）「夢の世界を旅しよう」
2016. 7.09　西日本新聞（夕）「大人も子どもも　しあわせな時間」
2016. 7.09　西日本新聞（夕）「絵本ミュージアム」
2016. 7.22　読売新聞（朝）「NTT西日本スペシャル　おいでよ！絵本ミュージアム2016」
2016. 7.25　西日本新聞（夕）「『しあわせな時間』テーマに」
2016. 7.29　毎日新聞（朝）「お皿に広がる　絵本の世界」
2016. 8. 1　西日本新聞（夕）「NTT西日本スペシャル　おいでよ！絵本ミュージアム2016」
2016. 8. 3　西日本新聞（朝）斉田康隆「夏の『しあわせな時間』」
2016. 8. 6　西日本新聞（夕）西本初音「わたし活性化計画　ちょっと一息」
2016. 8. 7　西日本新聞（朝）「しあわせな時間　絵本ミュージアムから（上）恐竜が導く空想の世界」
2016. 8. 8　西日本新聞（朝）斉田康隆「しあわせな時間　絵本ミュージアムから（下）物語満喫　チョウになる」
2016. 8.10　西日本新聞（朝）「もの知りタイムズ　今日のテーマ　体験！！童話の世界」
2016. 8.17　西日本新聞（朝）「絵本ミュージアム　入場3万人を突破」

アート横断Ⅴ 創造のエコロジー

会　　期　2017(平成29)年2月18日(土)～3月21日(火)
会　　場　福岡アジア美術館7階　彫刻ラウンジほか
主　　催　福岡アジア美術館
開催日数　28日間
観覧者数　4,317人
出展点数　8点
参加作家　7組
※ホァン・ボージィ[台湾]、イシャン・コースラ[インド]、ペク・ジョンギ[韓国]、ナム・ジュン・パイク[韓国／アメリカ]、ジュリアン・エブラハム・トガー[インドネシア]、モノサーカス[福岡]、エクシード[香港]

「アート横断」シリーズの5回目となる本展では、メディアアート、デザイン、工芸、農業などの幅広い領域を果敢に横断するアーティスト7組を紹介。彼らの創作活動は、ときに完成した作品以上に、制作するための環境やプロセス、協力者との関係性自体が重要になる。ここでは「創造のエコロジー(生態学)」という視点から、彼らの新しい取り組みに着目した。

さらに本展は、来館者がいつでも利用できる彫刻ラウンジやカフェを展示会場として利用した。会期中にはさまざまなイベントなども実施し、新しい美術館体験を生みだした。

ポスター　B2　アベキノデザイン(デザイン)／株式会社インテックス福岡(印刷)
ハガキ　8種　アベキノデザイン(デザイン)／株式会社インテックス福岡(印刷)
図録　A4変形／32頁　アベキノデザイン(デザイン)／西日本新聞印刷株式会社(印刷)
ウェブサイト　アベキノデザイン、クライマー株式会社

関連事業
□ギャラリートーク
講師:ペク・ジョンギ、エクシード、モノサーカス、ホァン・ボージィ
日時:2月8日(土)15:00～16:00
会場:彫刻ラウンジ
□イベント
500本のレモンの木
出演:ホァン・ボージィ、Manoske
日時:2月8日(土)17:00～20:00
会場:カフェ
□トーク
講師:エクシード、藤岡定(anno lab)
日時:2月19日(日)13:00～14:30
会場:あじびホール
□トーク
講師:ペク・ジョンギ
日時:2月19日(日)15:00～16:30
会場:あじびホール
□ワークショップ
電子工作入門講座　Arduinoで動く簡単お絵かきロボットを作ろう！(計4回)
講師:松崎宏史(Studio Kura)
日時:2月25日(土)
①13:00～14:00、②15:00～16:00、
3月12日(日)
③13:00～14:00、④15:00～16:00
会場:交流スタジオ
□ワークショップ
こんなものがあったらいいなをデザインする！
講師:冨本浩一郎(山口大学 国際総合科学部 講師)、秋谷直矩(山口大学 国際総合科学部 助教)
日時:3月20日(月・祝)10:00～17:00
会場:交流スタジオ

展示事業　3　コレクション展

アジアギャラリーでは、所蔵品を通し、アジア美術の近代から現代への流れを概観できる展示を行った。同ギャラリー内には、そのほかテーマごとに特設コーナーを設け、3〜4ヶ月おきに展示替えを行った。平成29年度の特設コーナーで開催した展覧会は下記のとおりである。

瞑想の森

2016年4月21日(木)〜7月12日(火)

2つのテーマで構成。「きらめく世界へ」では現代の都市生活では見過ごされがちな様々な「光」を取り上げた作品を展示するほか、「森の住人たち」では現実と空想の溶けあったような幻想的な絵画を中心に、タイ、ベトナムなどの作品12点を紹介。

関連記事

2016. 5.30　西日本新聞(夕)「瞑想(めいそう)の森」

びっくり！そっくり！〜究極のリアル〜

2016年4月21日(木)〜8月23日(火)

絵画や彫刻で本物そっくりに表現された「ひと」や「もの」など、いまにも動きだしそうな「リアル」に迫った展示。対象を正確に再現するのは作家の目と技であり、限りある命を永遠に留めたいという人間の願いを投影したような、スーパーリアリズムな作品18点を紹介。

関連記事

2016. 5. 9　西日本新聞(夕)「びっくり！そっくり！〜究極のリアル〜」
2016. 5.23　西日本新聞(朝)「究極のリアル展　絵画や彫刻14点」
2016. 5.31　西日本新聞(朝)「びっくり！そっくり！〜究極のリアル〜」

タン・ダウ展(コーナー展示)

2016年7月14日(木)〜9月6日(火)

シンガポールのみならず、東南アジアの現代美術を牽引してきた美術作家タン・ダウ(1943年まれ)の作品5点と、1991年に福岡市美術館で行われた2つのパフォーマンス映像を展示。本コーナー展示にあわせて、8月28日(日)には東南アジア美術研究者を招いて、タン・ダウの活動をふりかえるトークを開催した。

イベント

□タン・ダウの軌跡、再び ― シンガポール・福岡
2016年8月28日(日)14:00−16:00
「タン・ダウ in 福岡」
後小路雅弘(九州大学大学院人文科学研究院 教授)
「タン・ダウ:100% 老土」
シャーメーン・トー(シンガポール国立美術館 学芸員)

第31回夏季オリンピック・第15回夏季パラリンピック スポーツの祭典―めざせ金メダル！

2016年7月14日(木)〜10月4日(火)

オリンピック、パラリンピックの競技種目に選ばれたサッカーや水泳などのスポーツから相撲や弓道などの武道、さらに《ビン乗せ競争》やローラースケートなどのゲームや娯楽まで、記録や勝利をめざすだけではないさまざまな運動のあり様を表現した作品20点を紹介。

関連記事

2016. 7.30　読売新聞(朝)「コレクション展『スポーツの祭典―めざせ金メダル！』」
2016. 8.19　毎日新聞(朝)「五輪にちなみ作品展」
2016. 8.29　西日本新聞(夕)「第31回夏季オリンピック・第15回夏季パラリンピック　スポーツの祭典―めざせ金メダル！」

心の旅、ベトナム ――日本の美術コレクター寄託作品より

2016年9月8日(木)〜12月25日(日)

日本の美術コレクター3人が心魅かれ、集めたベトナム美術の寄託作品を中心に、1940年代から現在までのベトナム美術作品110点を紹介した。本展は「アジアフォーカス・福岡国際映画祭2016」ベトナム大特集上映の連携企画であり、また調査においては当館との相互協力館であるシンガポール国立美術館のベトナム美術専門学芸員の協力を得た。

関連記事

2016. 9.12　西日本新聞(夕)「心の旅、ベトナム―日本の美術コレクター寄託作品より」
2016. 9.17　西日本新聞(朝)「まちナビ　心の旅、ベトナム」

アートでつながる ―東南アジアの美術グループ

2016年10月6日(木)〜12月25日(日)

アジアでは自由な作品発表の場所など、長らくアートにおけるインフラが整っていなかったため、作家どうしのネットワークが制作を継続するうえで重要な役目を果たしてきた。本展では、アジア地域で多数の美術グループが誕生した背景と、そのメンバーによる作品15点を紹介。

東南アジアのアート・スペース ―あじび・アーカイブ・セレクション(コーナー展示)

2016年10月6日(木)〜12月25日(日)

「アートでつながる―東南アジアの美術グループ」展に合わせて、ラウンジM8で当館のアーカイブ資料の中から、東南アジアのアート・スペースに関する美術書籍、パンフレット等を紹介。

日本・フィリピン国交正常化60周年記念 タイム・トラベル―美術で知るフィリピン

2016年8月25日(木)〜12月25日(日)

フィリピンにおける女性アーティストの草分け的存在であるブレンダ・ファハルドが描いた作品に始まり、フィリピンの島々で暮らす海や山の民、そして海を越えてやってきた異国の者たちの物語が複雑に絡みあった古代から近現代までの歴史に焦点をあて、18点を紹介。

関連記事
2016. 9.18　西日本新聞(朝)「近現代美術でたどる比の歴史」

冬のおとなミュージアム「超☆現実」—演じる写真

2017年1月2日(月)～3月21日(火)

福岡アジア美術館、福岡市美術館、福岡市博物館3館による連携企画シリーズの第３弾。2016年のテーマは「超☆現実」。本展では、美術作家自身が別の誰かに姿を変えて、写真の世界に登場する作品や、現実には存在しない世界を人工的に作り上げる演出写真など、アジアの写真作品28点を紹介。

イベント

□おでかけトーク

福岡アジア美術館と福岡市博物館の2館の展示会場内、福岡市美術館も含めた3館の学芸員がそろってギャラリートークを行った。
福岡アジア美術館　2017年1月21日(土)13:30～14:30
福岡市博物館　2017年2月12日(日)13:30～14:30

□あなたの知らないバスツアー

2017年1月28日(土)13:00～18:00
会場:福岡アジア美術館、福岡市美術館、福岡市博物館

関連記事
2017. 1.23　西日本新聞(夕)「冬のおとなミュージアム『超☆現実』—演じる写真」
2017. 2. 2　西日本新聞(朝)「冬のおとなミュージアム『超☆現実』—演じる写真」
2017. 2. 3　毎日新聞(朝)「おとなミュージアム　福岡市博物館など3館が共同企画」

アニッシュ・カプーアとインドのカタチ

2017年1月2日(月)～5月9日(火)

福岡市美術館と当館の所蔵品を組み合わせたコレクション展の第一弾として、インド出身でイギリスを拠点に国際的に活躍するアニッシュ・カプーアに焦点をあてた。加えてインドの現代美術における様々な「カタチ」を、「タントラ画」、「抽象のカタチ」、「精神と肉体」、「インドの母性像」という４つのテーマに分けた。所蔵作品22点と福岡市美術館作品9点を展示。

掲載記事
2017. 1.11　読売新聞(朝)「インド美術知る彫刻や絵画展示」
2017. 2. 3　日本経済新聞(夕)竹口浩司「アニッシュ・カプーア特集展『インド出身』に焦点」
2017. 4. 8　毎日新聞(朝)住友文彦「アートの地平から　インド思想と抽象表現」

光をつかまえて

2017年3月23日(木)～6月27日(火)

3つのテーマで展示を構成。「信仰の光」では、宗教や神話をテーマにした象徴的な作品、「人間と自然を照らす光」では、その土地の息吹をリアルに描きだす作品、「またたく都市の光」では、急速に発展する都市の輪郭を爆竹や炎の光で記録した現代の作品を紹介。様々な光を表現したモンゴルやスリランカなどの作品24点で構成した。

掲載記事
2017. 4. 3　西日本新聞(夕)「光をつかまえて」
2017. 4. 8　日経新聞(夕)「美術ガイド　福岡アジア美術館コレクション展　光をつかまえて」
2017. 4.11　西日本新聞(朝)「情報トピック！　光をつかまえて」
2017. 4.20　毎日新聞(朝)「コレクション展『光をつかまえて』」

交流事業

交流事業　1　招聘事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、様々な美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。

ジュリアン・エイブラハム・“トガー”
（インドネシア）

1987年生まれ
メダン（インドネシア）在住
滞在期間：9月7日～12月5日

□主な活動

①作品制作
福岡の若いアーティストたちと共同制作をしながら、一風かわった手法で福岡・博多の歴史や伝統に焦点をあてた「盆栽武博物館」を制作した。かつて博多のまちにアフロ姿の盆栽武という人物がいて、博多のまちを調べるとその痕跡が次々と見つかったという設定で、この架空の人物のゆかりの品々を集めたミュージアムを作り上げた。

②ワークショップ
●11月14日、15日
「BONSAI DANCE WORKSHOP」
参加者：春日市立春日北中学校　1年生　147人
場　所：春日市立春日北中学校

③トーク
●9月17日
滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～
参加者：一般56人
場　所：交流スタジオ

●11月12日
「Asian Arts Air Fukuoka:
Gate 04 Jogjakarta, Taipei, Bandung」
参加者：一般28人
場　所：Art Space Tetra
主　催：Asian Arts Air Fukuoka

●12月3日
「第15回アーティスト・イン・レジデンスの成果展」
参加者：一般51人
場　所：デザイン事務所　カラマリインク

④パフォーマンス
●12月3日
参加者：一般65人
場　所：デザイン事務所　カラマリインク

⑤ツアー
●11月19日
「博多のまちと人をめぐるツアー」
参加者：一般28人
協　力：ハカタ・リバイバル・プラン

⑥展覧会
●12月3日～25日
「第15回アーティスト・イン・レジデンスの成果展」
観覧者：一般2000人
場　所：7階ロビー、彫刻ラウンジ
（初日のみ）デザイン事務所　カラマリインク

ロー・イーチュン／羅懿君
（台湾）

1985年生まれ
台北（台湾）在住
滞在期間：9月12日～12月6日

□主な活動

①作品制作
多商人をテーマに制作をおこなった。博多商人の部屋をイメージし、バナナやパイナップル、パパイヤなどの果物や檜やたばこ、鹿など、台湾の輸出品にちなんだ古い写真を加工して仕立てた屏風の作品と、約2000本分のバナナの皮を集めて制作した鹿皮風敷物でインスタレーション作品を制作した。

②ワークショップ
●10月21日
「バナナの皮で影絵を作ろう！」
参加者：福岡市立有田小学校　3年生　117人
場　所：あじびホール、彫刻ラウンジ

③トーク
●9月19日
「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」
（「ママとこどものアートじかん」）
参加者：一般56人
場　所：交流スタジオ

●11月12日
「Asian Arts Air Fukuoka: Gate 04 Jogjakarta, Taipei, Bandung」
参加者：一般28人
場　所：Art Space Tetra
主　催：Asian Arts Air Fukuoka

●12月3日
「第15回アーティスト・イン・レジデンスの成果展」ギャラリー・トーク」
参加者：一般51人
場　所：7階ロビー

④展覧会
●12月3日～25日
「第15回アーティスト・イン・レジデンスの成果展」
参加者：一般2000人
場　所：7階ロビー、彫刻ラウンジ

⑤地域交流イベント
●10月22日
「博多リバレイン灯明」
場　所：博多リバレイン　フェスタスクエア

テッサ・マリア・タン・グアゾン
（フィリピン）

1973年生まれ
フィリピン、ケソン在住
滞在期間：2017年1月11日～3月21日

□主な活動

①調査・研究
当館のコレクション、アーカイブ資料などを使って、1970年代以降のフィリピン現代美術について調査をおこなった。

②トーク
●2月4日
「あじび美術講座2017　連続講座　フィリピン現代美術入門①
場をつくる手法：フィリピンのインスタレーション」
参加者：一般44人
場　所：交流スタジオ

●3月11日
「あじび美術講座2017　連続講座　フィリピン現代美術入門②
アートと地域～福岡、フィリピン、東南アジア」
参加者：一般53人
場　所：あじびホール

交流事業　2　受入支援事業

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し，作品制作や調査研究を行うことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して，制作や調査活動を支援した。

ティダラット・チャンタチュア／ Thidarat Chantachua
（タイ）

1992年生まれ
タイ、バンコク在住
滞在期間：5月11日～6月9日
シンガポール・ユナイテッド・オーバーシーズ銀行からの助成で来日。

□主な活動

①作品制作
福岡市内のモスクや京都を題材に、刺繍と水彩を組み合わせた平面作品5点を制作した。

②トーク
●6月4日
「滞在者によるトーク」
参加者：一般62人
場　所：交流スタジオ

③作品公開
●6月4日-7月23日
場　所：7階ロビー

プンイサ・シンラパラツァミー／ Punyisa Sinraparatsamee
（タイ）

1991年生まれ
タイ、バンコク在住
滞在期間：6月20日～7月30日

□主な活動

①作品制作
福岡の人々の生活スタイルや街についてリサーチし、立体作品2点とドローイング作品10を制作した。

②ワークショップ
●7月23日
「ソムオーさんの蝶番ワークショップ」
参加者：一般18人、子ども5人
場　所：交流スタジオ

③トーク
●6月25日
「滞在者によるトークVol.2」
参加者：一般67人
場　所：あじびホール

●7月7日
参加者：和白丘中学校　1年生　288人
場　所：交流スタジオ

●7月8日
参加者：馬出小学校　4年生　74人
場　所：交流スタジオ

●7月11日
参加者：愛宕小学校　4年生　127人
場　所：交流スタジオ

●7月21日
参加者：西南学院小学校　5年生　72人
場　所：交流スタジオ

●7月23日
「ソムオーさんのトーク」
参加者：一般47人
場　所：交流スタジオ、8階ロビー

④作品公開
●7月23日-8月23日
場　所：7階ロビー

キ・スルギ／Ki Seulki
（韓国）

1983年生まれ
韓国、ソウル在住
滞在期間：5月30日～6月29日

□主な活動

①作品制作
人々が感じる危険や恐れをテーマに、アンケート、インタビューをおこない、それをもとに写真作品の制作をおこなった。

②トーク
●6月4日
「滞在者によるトーク」
参加者：一般62人
場　所：交流スタジオ

●6月25日
「滞在者によるトークVol.2」
参加者：一般67人
場　所：あじびホール

③作品公開
●6月25日-7月23日
場　所：M8ラウンジ

パン・ルー（潘律）／Pan Lu
（中国・香港）

1981年生まれ
香港在住
滞在期間：5月21日～6月22日

□主な活動

①調査・研究
当館所蔵の資料を用いてアジアにおけるアートアーカイブについて調査研究をおこなったほか、当館の活動についての調査もおこなった。

②トーク
●6月4日
「滞在者によるトーク」
参加者：一般52人
場　所：交流スタジオ

③アーカイブ展
●6月22日
「アーカイブ的流れ：90分間の展覧会」
参加者：一般30人
場　所：art space tetra

交流事業　3　地域交流事業

「博多リバレイン灯明」
（「第22回博多灯明ウォッチング2016」同時開催）

10月22日（土）18：00～21：00
場　所：博多リバレイン　フェスタスクエア

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、美術作家招聘事業で滞在していたロー・イーチュン（台湾）が参加した。数千個の灯明をつかって、福禄寿を表現した。

教育普及事業　1　体験学習、博物館実習等

◎団体見学（学校）　44校　3189人

九州大学芸術工学部		125人	4月29日
北九州市立中央中学校	2年生	6人	5月27日（総合学習）
北九州市立東谷中学校	2年生	10人	5月31日（総合学習）
北九州市立二島中学校	2年生	21人	6月3日（総合学習）
北九州市立大学	2年生	17人	6月4日
北九州市立志徳中学校	2年生	89人	6月7日（総合学習）
北九州市立沖田中学校	2年生	6人	6月7日（総合学習）
北九州市立松ヶ枝中学校	2年生	20人	6月9日（総合学習）
福岡雙葉幼稚園	年長	76人	6月27日
福岡市立春吉小学校	6年生	28人	6月28日（図工）
北九州市立洞北中学校	2年生	18人	7月1日（総合学習）
北九州市立浅川中学校	2年生	141人	7月5日（総合学習）
福岡市立和白丘中学校	1年生	300人	7月7日
福岡市立馬出小学校	4年生	78人	7月8日（図工）
福岡市立愛宕小学校	4年生	126人	7月11日（図工）
西南学院小学校	5年生	77人	7月21日
飯塚市立庄内中学校	美術部	15人	7月22日
長崎東中学校	美術部	33人	7月23日
みやこ町立勝山中学校		17人	7月28日
福岡市立香椎第一中学校		32人	8月26日（総合学習）
山口芸術短期大学		70人	8月26日
福岡市立今津特別支援学校		6人	9月8日（総合学習）
福岡市立西長住小学校	6年生	55人	9月15日
福岡市立鳥飼小学校	6年生	128人	9月15日（図工）
佐世保市立祇園小学校	6年生	11人	9月16日
福岡市立美和台小学校	6年生	158人	9月16日（図工）
福岡市立城原小学校	6年生	81人	9月16日（図工）
福岡市立弥生小学校	6年生	49人	9月16日（図工）
福岡市立野多目小学校	6年生	140人	9月16日（図工）
福岡市立愛宕小学校	6年生	127人	9月20日（図工）
福岡市立若宮小学校	6年生	89人	9月20日（総合学習）
福岡市立飯倉中央小学校	6年生	55人	9月23日（総合学習）
福岡市立原北中学校	1年生	245人	9月30日
北九州市立はるた中学校		23人	10月7日（総合学習）
福岡市立屋形原特別支援学校		3人	10月18日
福岡市立小笹小学校	1年生	138人	10月18日（図工）
福岡市立有田小学校	3年生	122人	10月21日（総合学習）
福岡市立箱崎小学校	5年生	81人	10月25日（図工）
北九州市立菅生中学校		44人	10月25日（総合学習）
中村学園大学		58人	11月12日
佐世保市立黒髪小学校	6年生	96人	11月17日（図工）
博多青松高等学校		24人	11月19日
筑紫女学園大学		25人	11月23日
福岡市立南当仁小学校		126人	12月20日

◎職場体験学習　12校　54人

東福岡自彊館中学校	3人	5月23日～25日
福岡市警固中学校	3人	7月5日、6日
福岡市城西中学校	5人	7月6日、7日
福岡市三筑中学校	2人	8月17日～19日
福岡市雙葉中学校	5人	8月23日、24日
福岡市博多中学校	5人	8月25日、26日
福岡市那珂中学校	5人	9月6日、7日
福岡市平尾中学校	5人	9月6日、７日
福岡市東住吉中学校	5人	9月6日、7日
福岡市宮竹中学校	5人	9月7日、8日
福岡市春吉中学校	5人	9月13日、14日
福岡市当仁中学校	6人	9月27日、28日

◎博物館実習

（5月から10月までの中で10日間程度）

福岡大学	1人
筑紫女学園大学	1人
九州産業大学	1人
福岡教育大学	1人
佐賀大学	1人

◎夏期インターンシップ

九州産業大学付属九州高等学校	1人	8月3～7日
中村学園女子高等学校	1人	8月3～7日
福岡雙葉高等学校	1人	8月3～7日
博多高等学校	2人	8月3～7日

ミュージアム施策事業

福岡ミュージアムウィーク

美術館・博物館の役割である「出会いの場」「知識の場」「発見の場」をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」を記念して福岡市内の14施設（福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館、福岡市埋蔵文化財センター、「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、王貞治ベースボールミュージアム、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、西南学院大学博物館、三菱地所アルティアム、能古博物館、福岡市動植物園）が連携し、5月14日から22日まで様々な催しを開催した。

福岡アジア美術館の催し

□講演会

三井昌志トークショー
5月21日（土）14:00～16:00
参加者：一般80人
場　所：あじびホール

□ギャラリーツアー

5月16日（月）、17日（火）、19日（木）、20日（金）14:00～14:40
参加者：一般34人
場　所：アジアギャラリー

□バックヤードツアー

5月15日（日）、22日（日）13:00～14:00
参加者：一般40人
場　所：バックヤード

□アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

5月14日（土）、15日（日）、21日（土）、22日（日）
①11:30～12:00　②13:00～13:30
参加者：未就学児と保護者29人

□レジデンス招聘者100人記念！滞在成果映像作品上映会

5月14日（土）14:00～17:00
参加者：一般30人
場　所：あじびホール

□墨画パフォーマンス～「龍」を描く～

5月15日（日）
参加者：一般40人
場　所：彫刻ラウンジ

□その他

- アジアギャラリー観覧料無料
- 参加館を巡るスタンプラリー

三井昌志トークショー

ギャラリーツアー

バックヤードツアー

ボランティア事業

前年度に追加募集したボランティアの養成研修を前年度に引き続いて行い、6月25日のボランティア認定式で新たに77人が加わった。今年度は、新規ボランティアを含む273人が8つのグループに分かれて活動を行った。

活動内容およびグループ別延べ人数（ひとりが複数のグループで活動可）

平成28年7月現在

活動区分	活動内容	現行	新規加入	計
案内･解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	61	26	87
図書資料	図書資料の整理･修理、配架	57	11	68
学芸資料	新聞記事のスクラップ、学芸関連資料の整理補助	43	13	56
展覧会情報	展覧会のチラシの整理、雑誌掲載記事の整理	19	6	25
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	24	7	31
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	24	16	40
活動支援	連絡当番ミーティングの開催、ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画	10	7	17
交流	滞在美術作家･研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	196	77	273
	延べ人数	474	163	597
	ボランティア登録者数	196	77	273

活動

【案内･解説】

4月1日より活動開始。「あじびの魅力を伝えよう！」を年度目標に、開館日にアジアギャラリーの作品解説や施設案内を行い（13:00～16:00）、学校を始めとする団体や個人の見学希望者に随時案内を行った。5月14日～22日の「福岡ミュージアムウィーク」では「ボランティアによるギャラリーツアー」を4回開催した。

【図書資料】

4月4日より活動開始。「出来るときに、出来ることを。いつでも参加しやすい活動を。閲覧室をもっと魅力的に。」を目標に毎月10日･20日を中心として随時（毎月2日以上、1日につき2時間以上）活動をおこなった。図書閲覧室に特別企画展やミュージアムウィークに連動した図書資料の展示などを行った。

【学芸資料】

4月4日より活動開始。「ひたすらもらさず切りましょう！」を年度目標に、新聞スクラップやアーティストの資料ファイル製作などを随時（毎月2日以上、1日につき2時間以上）行った。毎月16日にグループミーティングを行った。

【展覧会情報】

4月1日より活動開始。「デジタル化作業手順の普及とスキルアップ」を年度目標に、毎月第1･3木曜および第2･4土曜を中心に展覧会のチラシやハガキの受入れとファイリング、館内掲示などを行い、雑誌の電子スクラップ作業などを行った。

【広報】

4月12日から活動開始し、「『展覧会のご案内』をホテルに配布し、配布先の新規開拓をする」を年度目標に活動を行った。広報誌「あじびニュース」および特別企画展のポスター、チラシを発送したほか、美術館近隣のホテルに館のリーフレットやポスター、チラシ等を持参し設置を依頼した。毎月1回ミーティングを行った。

【読み聞かせ】

4月9日より活動開始し、毎月第2火･日曜日に活動を行った（各日2回開催）。「アジア美術館にふさわしい絵本を読んで行こう」を目標に、展示作品に関連した絵本や紙芝居の読み聞かせを行った。新規メンバー加入後に、自主研修を行った。

6月25日　ボランティア認定式

8月27日　ボランティアの講師による研修会

10月15日　ボランティアバスツアー

【活動支援】

4月1日より活動開始。「参加から始まるボランティア活動のススメ」を目標に活動を行った。滞在アーティストの歓迎会や研修バスツアー、連絡当番ミーティングの開催などを行ったほか、ボランティアを講師に研修会などを開催した。

《活動支援ボランティア主催のボランティア催事》

◇連絡当番ミーティング
5月28日、8月6日、11月19日

◇ボランティア研修会
8月27日　「私がのぞいたインドの暮らし」
講師：山口真由美（案内・解説、交流ボランティア）

◇研修バスツアー
10月15日　福岡女子大学美術館、九州産業大学美術館「特別展『美の鼓動　九州クリエーターアーカイヴ』」展、佐賀大学美術館「佐大の工芸展」ほかを観覧

◇レジデンス歓迎会
6月 4日　受入支援レジデンス・プログラム
9月17日　第Ⅰ期レジデンス・プログラム

◇交流会
12月17日　第1部　趙純恵学芸員によるトーク「アートの現場はこうして支えられている！～あいちトリエンナーレの場合」
第2部　親睦会

【交流】

7月22・23日に、タイの受入支援アーティスト、プンイサ・シンラパラツァミーのワークショップの準備を行った。7月26日～8月21日に開催した「おいでよ！絵本ミュージアム2016」の会場で見守りと誘導を行った。10月22日開催の「博多リバレイン灯明」の設置、撤収作業を行った。11月11日～数日間、インドネシアの滞在アーティスト、ジュリアン・エイブラハム・“トガー”の制作のサポートを行った。

□その他

◇平成28年度ボランティア総会
平成29年3月18日　13：00～14：30　於：交流スタジオ

◇ボランティア研修
平成29年3月29日　14：00～15：30　於：会議室
「障がいのある来館者への接遇について（配慮が必要な方へのホスピタリティガイド《基礎編》）」
講師：遠山昌子（一般社団法人 生きかたのデザイン研究所）
高嵜和子（一般社団法人 生きかたのデザイン研究所）

◇担当学芸員によるボランティア向けギャラリートーク
アジアギャラリー展示替え毎に各2回実施

◇追加募集
養成研修：1月26日～5月14日
面　　談：5月24日～6月18日
認 定 式：6月25日
活動開始：7月7日（但し、案内解説ボランティアは7月～10月に実地研修を受講し、11月から開始）

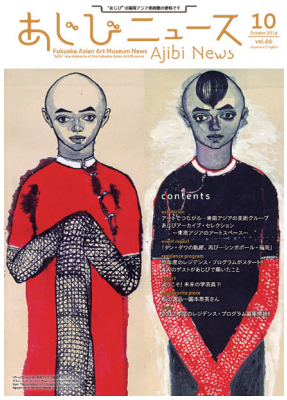
3月29日　ボランティア研修会

広報活動

あじびニュース

Vol.64　2016.4.1発行
- 百花繚乱 中国リアリズムの煌めき
- びっくり！そっくり！～究極のリアル～
- 瞑想の森
- 福岡ミュージアムウィーク2016
- ダイアナさんが語る「ダッカ・アート・サミット」
- 私の逸品―武内貴子さん
- あじび、Googleアートプロジェクトに参加！
- 福岡アジア美術館インフォメーション2016年4月－6月

Vol.65　2016.7.1発行
- おいでよ！絵本ミュージアム2016
- スポーツの祭典―めざせ金メダル！
- タイム・トラベル―美術で知るフィリピン
- 心の旅、ベトナム―日本の美術コレクター寄託作品より
- 多芸多才！アジアからのゲストたち
- 福岡ミュージアムウィーク2016レポート
- 私の逸品―三井昌志さん
- あじびボランティア第4期がスタート！
- 福岡アジア美術館インフォメーション2016年7月－9月



Vol.66　2016.10.1発行
- アートでつながる―東南アジアの美術グループ
- あじびアーカイブ・セレクション～東南アジアのアート・スペース
- 「タン・ダウの軌跡、再び―シンガポール・福岡」
- 今年度のレジデンス・プログラムがスタート！
- 4人のゲストがあじびで築いたこと
- ようこそ！ 未来の学芸員?!
- 私の逸品―国本康英さん
- 2017年度のレジデンス・プログラム募集開始！
- 福岡アジア美術館インフォメーション2016年10月－12月

Vol.67　2017.1.1発行
- アニッシュ・カプーアとインドのカタチ
- 冬のおとなミュージアム「超☆現実」―演じる写真
- コラム：市美の作品、あじびにお引越し
- アート横断Ⅴ 創造のエコロジー
- 私の逸品：牧園憲二さん、八頭司昴さん
- ミュージアム・カフェがグランド・オープン
- 本年度アーティストたちによる滞在制作
- 福岡アジア美術館インフォメーション2017年1月－3月

規格　A4　8ページ　　企画・発行　福岡アジア美術館　　編集　木下貴子（CXB）
デザイン　大村政之（クルール）
和文英訳　ステファニー・オリー

リーフレット

平成29年度展覧会リーフレット
2017.3.31発行
●展覧会のご案内2017年4月―2018年3月
●交流ギャラリー
●レジデンス事業のご案内

企画
幅594×縦210mm（両面カラー・3つ折り）
企画・発行　福岡アジア美術館
デザイン　村上英峻

ホームページ

http//faaam.city.fukuoka.lg.jp/

コンテンツ

美術館について／基本理念、活動案内、施設概要、美術館ができるまで、アジア美術館の歩み
コレクション／収集方針、主な作品、所蔵品検索
美術館だより／最新トピックス、バックナンバー
利　用　案　内／利用案内、交通案内、館内マップ、FAAM CAFÉ
出版物・グッズ／出版物・グッズ、展覧会図録ほか、広報誌、オリジナルグッズ、PDFデータ（事業報告書ほか）
展覧会案内／展覧会最新情報、スケジュール
イベント案内／最新のイベント、過去のイベント
レジデンス事業／今年度の滞在者、過去の滞在者、事業報告書、募集要項

Facebook

https://www.facebook.com/fukuokaasianartmuseum/

ブログ

http://faamajibi.blogspot.jp/

所蔵作品

所蔵作品　1　新所蔵作品

新所蔵作品数　H28年度

	購入	寄贈	合計
絵画	1	3	4
版画	10	3	13
写真	0	9	9
映像	4	1	5
立体	0	1	1
合計	15	17	32

※作品データは、以下の順で記載
作家名(拠点)
タイトル
制作年
ジャンル　素材
サイズ(cm)

新所蔵作品一覧

1　ヘイダル・アリ・ジャン(パキスタン)
誓いの式典
2011
ビデオ　アニメーション
7分26秒

2　ルー・ヤン(陸揚)(中国)
子宮戦士
2013-2014
ビデオ　アニメーション
11分20秒

3　ブー・ホァ(卜樺)(中国)
はびこる野蛮
2008
ビデオ　フラッシュ・アニメーション
3分52秒

4　リュウ・ロンフォン(劉栄楓)(中国・日本)
満洲の収穫
1930
絵画　油彩・画布
91.0×117.0

5　リュウ・ロンフォン(劉栄楓)(中国・日本)
満洲風景
1929
絵画　油彩・画布
60.8×73.0(寄贈)

6　松田黎光(日本)
妓生の家
1940
版画　木版、手彩色・紙
25.8×38.3(寄贈)

7　松田黎光(日本)
剣舞
1940
版画　木版、手彩色・紙
40.2×26.5(寄贈)

8　横田仁郎(日本・タイ)
クロング・プラケオ風景
1969
絵画　ペン、水彩・紙
51.0×64.4(寄贈)

9　レオニーリョ・ドロリコン(フィリピン)
市民軍
1987/2008
版画　リノカット・紙
46.0×31.0

10　レオニーリョ・ドロリコン(フィリピン)
待ち伏せ(市民軍2)
1987/2008
版画　リノカット・紙
46.4×30.8

11　レオニーリョ・ドロリコン(フィリピン)
統一戦線
1988/2008
版画　リノカット・紙
46.4×30.1

12　レオニーリョ・ドロリコン(フィリピン)
ブルジョア階級の墓掘り人
1989
版画　リノカット・紙
59.5×44.8

13　レオニーリョ・ドロリコン(フィリピン)
鉄の蝶
1989/2008
版画　リノカット・紙
60.2×44.9

14　レオニーリョ・ドロリコン(フィリピン)
暴力装置
1990
版画　リノカット・紙
61.6×45.7

15　レオニーリョ・ドロリコン(フィリピン)
農民革命
1990/2008
版画　リノカット・紙
59.9×46.4

16　レオニーリョ・ドロリコン(フィリピン)
外国借款
1993/2008
版画　木版・紙
95.3×60.7

17　レオニーリョ・ドロリコン(フィリピン)
革命は続く
1998
版画　リノカット、アクリル・紙
56.7×82.3

18　レオニーリョ・ドロリコン(フィリピン)
ボニファシオの人民革命
2012
版画　リノカット、アクリル・紙
45.0×45.5

19　ゾン・シータオ(宗錫涛)(中国)
昆虫シリーズNo.5(カマキリ)
2005
絵画　墨、水彩・紙
124.3×243.0(寄贈)

20　ジュハリ・サイード(マレーシア)
ブルーマウンテン
1994
版画　木版・紙(2枚組)
91.4×122.2(寄贈)

21　ティーモーナイン(ミャンマー)
ページをめくる間に
2011
ビデオ
7分34秒

22　メヘリーン・ムルターザ(パキスタン)
フーバ・フーバ(未来派風に食べる)
2011/2014
写真　デジタルCタイププリント・光沢紙
127.0×84.6(寄贈)

23　メヘリーン・ムルターザ(パキスタン)
アルファベット・スープ(未来派風に食べる)
2011/2014
写真　デジタルCタイププリント・光沢紙
84.6×127.0(寄贈)

24　メヘリーン・ムルターザ(パキスタン)
念写(未来派風に食べる)
2011/2014
写真　デジタルCタイププリント・光沢紙
84.6×127.0(寄贈)

25　ファンコグラフィック(モルディブ)
フュージョン・プロジェクト #1
2015
写真　デジタルCタイププリント・光沢紙
51.5×72.8(寄贈)

26　ファンコグラフィック(モルディブ)
フュージョン・プロジェクト #2
2015
写真　デジタルCタイププリント・光沢紙
51.5×72.8(寄贈)

27　ファンコグラフィック(モルディブ)
フュージョン・プロジェクト #3
2015
写真　デジタルCタイププリント・光沢紙
51.5×72.8(寄贈)

28　ファンコグラフィック(モルディブ)
フュージョン・プロジェクト #4
2015
写真　デジタルCタイププリント・光沢紙
51.5×72.8(寄贈)

29　ファンコグラフィック(モルディブ)
フュージョン・プロジェクト #5
2015
写真　デジタルCタイププリント・光沢紙
51.5×72.8(寄贈)

30　チュンリン・ジョリーン・モク(中国)
店を見る
2015
ビデオ
14分24秒(寄贈)

31　ジュジュ・ユ(韓国)
スーパー・ミュージアム・プロジェクト 福岡・日本
2015
写真　デジタルCタイププリント・光沢紙
72.6×54.4(寄贈)

32　ジュリアン・エイブラハム・トガー（インドネシア）
盆栽武博物館
2016
立体 インスタレーション
（寄贈）

ルー・ヤン（陸揚）
《子宮戦士》
2013-2014年

レオニーリョ・ドロリコン
《鉄の蝶》
1989/2008年

所蔵作品　2　貸出一覧

※平成28年（2016）年4月以降

貸　出　先：熊本市現代美術館
展　覧　会：だまし絵王エッシャーの挑戦状
会　　期：2016年4月9日（土）～6月12日（日）
※地震により、貸出作品の展示は4月14日まで。5月18日より縮小展示。
貸　　出：8点
入 場 者 数：2,256人（会期16,276人）

	作者	作品名
1	キム・チャンヨル（金昌烈）	水滴
2	リュ・シェンジョン（呂勝中）	○
3	リュ・シェンジョン（呂勝中）	○の負形
4	ワン・ジュンジエ（王俊傑）	万里の長城
5	ワン・ジュンジエ（王俊傑）	アルプス山脈
6	ワン・ジュンジエ（王俊傑）	ヴェニス
7	リ・ミンズ（李明則）	左営の風景
8	ラシード・ラーナー	パレードの間、すべての目は空を仰ぐ

貸　出　先：福岡市美術館
展　覧　会：TRACES｜轍 ―近現代美術コレクション形成のあゆみをたどる
会　　期：2015年6月16日（火）～2016年8月31日（水）
※貸出作品の展示は、2016年6月28日（火）～8月31日（水）
貸　　出：7点
入 場 者 数：23,458人

	作者	作品名
1	キム・チャンヨル（金昌烈）	水滴
2	ロベルト・フェレオ	スペインの暗い側面の祭壇屏
3	ツァイ・グオチアン（蔡國強）	私はE.T. 天神と会うためのプロジェクト: Project for Extraterrestrials No.4
4	スパチャイ・サートサーラー	道程　再び
5	ラシード・アライーン	緑の絵画 No.2
6	リー・ウェン（李文）	イエローマンの旅No.5：自由への指標
7	サイード・アハメッド・ホセイン（絵）、アリ・メカール（車体製作）	リキシャ

貸　出　先：よこはま若葉町多文化映画祭実行委員会
イ ベ ン ト：よこはま若葉町多文化映画祭2016
会　　期：2016年8月20日（土）～8月26日（金）
※貸出作品の上映は、2016年8月20日（土）、8月28日（日）の2日のみ。
貸　　出：3点
入 場 者 数：32人（映画祭全体1,099人）

	作者	作品名
1	ウォン・ホイチョン	粛清
2	ザイ・クーニン	リアウ諸島
3	ペマ・ツェリン	天上界

所蔵作品　3　修復一覧

	作者	作品名
1	須田悦弘	菫
2	陳澄波	台湾東海岸風景（寄託作品）
3	グエン・クアン	海の印象
4	シャイル・チョーヤル	森の中で

所蔵作品　4　所蔵品等の掲載一覧

＊以下、発行が確認されたものに限る。

2016　*Oh Su-Fan*, Gana Foundation for Arts and Culture

	作者	作品名
1	オ・スーファン（呉受桓）	谷神

2016.8　藤田令伊『企画展がなくても楽しめる　すごい美術館』ＫＫベストセラーズ

	作者	作品名
1	ツァイ・グォチアン（蔡國強）	私はE.T. 天神と会うためのプロジェクト: Project for Extraterrestrials No.4
2	ルオン・シュアン・ニー	読書する若い娘
3	リュウ・カン（劉抗）	スリッパ

2016.12　龍秀美『詩集　父音』土曜美術社出版販売

	作者	作品名
1	ウ・ティエンチャン（呉天章）	春宵夢IV

2015.7　2017 呂采芷「華人藝術的在地與普遍性－以林學大為中心的考察」『藝術學研究所』國立中央大學術學研究所

	作者	作品名
1	チャン・ジューチー（張汝器）	林学大の肖像
2	タン・ティチー（陳世集）	戦争の被害
3	ヴィセンテ・マナンサラ	フアン・ルナの「血の同盟」

入館者数

年度別入館者数

年度別	開館日数	常設展	特別企画展	貸館展覧会等	合計	1日平均
10年度	22		22,250		22,250	1,011
11年度	242	38,530	149,395	70,336	258,261	1,067
12年度	309	66,421	118,677	106,529	291,627	944
13年度	302	29,632	15,330	186,987	231,949	768
14年度	301	45,472	71,375	40,452	157,299	523
15年度	307	56,623	167,353	64,827	288,803	941
16年度	305	39,828	37,815	81,015	158,658	520
17年度	294	42,679	107,203	90,714	240,596	818
18年度	307	53,872	69,007	96,847	219,726	716
19年度	309	45,501	81,972	88,543	216,016	699
20年度	307	50,719	67,797	142,131	260,647	849
21年度	286	35,740	111,635	77,814	225,189	787
22年度	307	40,820	57,272	83,921	182,013	593
23年度	311	62,267	57,101	150,081	269,449	866
24年度	313	66,876	54,893	188,001	309,770	990
25年度	311	54,509	204,388	84,587	343,484	1,104
26年度	288	39,412	61,915	141,305	242,632	842
27年度	311	49,477	54,117	186,158	289,752	932
28年度	311	65,061	49,082	137,182	251,325	808
累計	5,443	883,439	1,558,577	2,017,430	4,459,446	

月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	5,684	7,131	13,113	20,797	53,042	23,259	15,606	6,819	13,328	45,054	36,772	10,720	251,325

あじびホール月別使用状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	9	7	19	15	7	20	11	10	11	10	11	5	135
人数	799	466	1,342	1,546	1,160	3,242	811	848	763	732	668	497	12,874

あじびホール年度別使用状況

年度別	件数	人数
10年度	21	1,730
11年度	110	8,480
12年度	106	9,682
13年度	58	8,834
14年度	50	5,849
15年度	70	7,353
16年度	87	8,681
17年度	89	7,336
18年度	109	11,609
19年度	113	11,487
20年度	145	13,360
21年度	102	8,227
22年度	119	10,198
23年度	119	12,750
24年度	148	14,069
25年度	134	13,183
26年度	113	9,698
27年度	135	11,361
28年度	135	12,874
累計	1,963	186,761

あじびホール使用状況内訳

催物別	件数	人数
講演会	9	569
セミナー	13	1,053
アーティストトーク	5	407
ワークショップ	5	342
映画	41	5,740
演劇	0	0
音楽	8	566
落語	4	370
漫才	1	200
展示	24	1,920
その他	25	1,707
合計	135	12,874

常設展・特別企画展

	展覧会名	開催期間	日数	計	1日平均	有料観覧者数				無料観覧者数
						一般	高・大	小・中	計	
常設展			311	65,061	209	11,971	1,748	0	13,719	51,342
特別企画展	百花繚乱　中国リアリズムの煌めき	4月16日－5月22日	32	3,060	96	1,567	144	0	1,711	1,349
特別企画展	おいでよ！絵本ミュージアム2016	7月26日－8月21日	27	46,022	1,705	15,142	324	4,949	20,415	25,607
特別企画展	合　計		59	49,082		16,709	468	4,949	22,126	26,956

貸館展覧会等　7階企画ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
松永豊秀遺墨展　併催　30周年記念蒼松会展	4月 1日～ 4月 5日	5	619	佐賀を本拠にかな書道研究蒼松会を主宰。平成25年に64歳で死去した、日展会友　松永豊秀の遺墨展に、会の30周年を記念した会員展を併催した展覧会。遺墨展は、蒼松会展を中心に日展、読売展、個展などへの出品作の他、未発表も含め約100点。会員は約100名が1点ずつ近作を発表。
パッチワークキルト展2016　～和布に魅せられて	6月 2日～ 6月 7日	6	951	着物や帯などの和布と出会いその優しい色合い手触りに魅せられて制作。 パッチワークタペストリー40点その他縮緬細工・つるし飾り・袋物を展示。
アートスタジオ・アライブ　鉛筆画教室作品展	6月 2日～ 6月 7日	6	1,588	鉛筆画教室の講師と生徒作品及二科展出品作品を合わせて約200点程展示。
花と光のフェスティバル「押花で描く雅の世界」 「グラスアート・レカンフラワー・アートプリント」	6月 9日～ 6月14日	6	1,322	自然の草花を押し花にした額絵約100点、ステンドグラスの雰囲気が手軽に楽しめるグラスアート約30点、自然の草花を立体的に乾燥させたレカンフラワー約20点、衣類やバック、アクセサリーなどにアイロンでデコレーションしたアートプリント約20点、その他にも切り絵の世界を表現したシルエットアートやタイルクラフトなど展示。
田尻砂津子フックド・ラグ展	6月 9日～ 6月14日	6	437	フックド・ラグとはキルトと同様昔からあるアメリカンクラフト。フックは引っ掛ける、ラグは敷物の意味。ウールの布を細長く切ってラグ専用のクロスに絵を描くように刺していく。古いウールの洋服なども利用。NHKカルチャー福岡、ヴォーグ学園天神、ピオニー太宰府の生徒作品70点を展示。
アジア美術家連盟　日本委員会展	6月16日～ 6月21日	6	1,047	洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、メディアアートの作品展示。
Heart Art in Fukuoka～第2回福岡にアートが集う日～	6月23日～ 6月28日	6	1,060	福岡にアートが集う日と題し、九州で活躍する様々なアーティストはもちろん、日本全国のアーティスト達の多種多様な作品が福岡に集結。
90回記念国展福岡展	6月30日～ 7月 5日	6	2,039	1925年梅原龍三郎等によって始められ、戦争激化の1945年に一度中止したほかは、個性を重視し、多様化する表現様式と新しい世代にも呼応する総合美術団体として、毎年約8万人の入場者を得ている。国展福岡展はその巡回展で、絵画・版画・彫刻・工芸・写真五部内の想像力とエネルギーに満ちた世界を展示。
第11回ぶらり葦ペンの会作品展	7月 7日～ 7月12日	6	815	葦ペンを使って絵を描いているグループの作品展。葦ペンが生み出す線の面白さを味わえる作品約100点を展示。
江海・龍展	7月 7日～ 7月12日	6	893	昔から龍神と言われ、商売繁盛・家庭円満・健康・出世などの守り神とされる龍をテーマに、700年前の中国永楽宮の技術と水晶、金箔などの画材を用いた作品。
初まりの向こうに　VOL. 1展	7月 7日～ 7月12日	6	541	九州で生まれ育ち、福岡で写真を学んだ若手写真家(角田奈々、田邉成実、錦戸俊康、唄野加奈、松岡美紀、山野雄樹)6名が集まり写真展を開催。
第44回　日本の書展　九州展	7月14日～ 7月18日	5	1,544	現代書壇を代表する書家の秀作を、会派を超えて一堂に紹介。日本芸術院会員など、書壇の最高峰とされる巨匠17人をはじめ、代表作家や委嘱作家、各県からの選抜作家など441点の作品が並ぶ。
九州産業大学芸術学部写真映像学科 百瀬ゼミナール写真展	8月25日～ 8月30日	6	905	九州産業大学芸術学部写真映像学科、百瀬ゼミナール所属の学生27名による写真展。それぞれのテーマに沿って「島」という結びつきのもと、撮影。
荒巻ゼミナール写真展	8月25日～ 8月30日	6	616	九州産業大学芸術学部写真映像学科荒巻ゼミナール所属の学生10名、大学院生2名、教員2名、計14名による写真展。それぞれの地元をテーマにして撮影。
九州産業大学芸術学部写真映像学科 進藤ゼミナール写真展「フィールド」	8月25日～ 8月30日	6	513	メンバー10名が各々自由にテーマを決め、独自の視点で撮影・制作した作品を展示。
アートたけし展	9月 3日～10月10日	33	18,082	マルチな才能を持つビートたけしがアートに挑戦。版画や絵画、コラージュ作品など約100点を初公開。
THE 世界名作劇場展	10月14日～11月20日	33	2,032	「フランダースの犬」「母をたずねて三千里」など誰もが知っている「世界名作劇場」の貴重なアニメ製作の資料を展開。宮崎駿氏直筆の「赤毛のアン」レイアウト約30点等を展示。
博多三傑展～仙厓・渓仙・善三郎～	11月25日～11月29日	5	1,010	一人は冨田渓仙、もう一人は児島善三郎、その博多が生んだ二人の画家と江戸末期に博多聖福寺百二十三世として活躍し庶民にも人気の高かった仙厓和尚を加え書画における博多三傑として現代の世に問うものである。
2016　極彩華麗膠彩畫　黄鴻基展	11月25日～11月29日	5	598	台湾日本画の画家「黄 鴻基」氏の展覧会。
西日本版画協会展	11月25日～11月29日	5	495	木版、ペーパースクリーン等の版画、45点。
福岡市障がい児・者美術展	12月 1日～12月 6日	6	1,404	障がい児・者の創造性や感性等を表現する事を狙いとして開催しており、今回で9回目。幅広い年齢層の個性豊かな作品が揃う。
西南学院創立百周年記念　オール西南美術展	12月 8日～12月13日	6	1,213	西南学院創立百周年を記念して、保・幼・小・中・高・大学の現役・OB・教職員によるオール西南美術展を開催。
篠山紀信展　写真力 THE PEOPLE by KISHIN	12月18日～ 2月12日	43	50,461	時代の先端を撮り続けてきた篠山紀信。アイドルや俳優などの著名人、歌舞伎などの伝統芸、社会現象を巻き起こしたヌード作品など100点以上を厳選して展示。
ファインアート展(福岡市中学校特別支援学級合同作品展)	2月16日～ 2月21日	6	1,484	福岡市内の63中学校の特別支援学級に在籍する生徒たちが制作。日頃の学習の成果を発表するもので、絵画、手芸、陶芸、書、木工、紙工、共同作品などで構成されている。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
「Ken De Works2016卒展」近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科平成28年度卒業設計・製作作品展	2月16日～ 2月21日	6	509	建築設計から家具制作、WEBデザインなど、建築・デザイン学科で幅広くものづくりを学んだ学生達の卒業制作展。
九州産業大学芸術学部/大学院芸術研究科　卒業・修了制作展	2月23日～ 2月28日	6	1,059	九州産業大学　芸術学部・芸術研究科における学生生活の集大成として卒業制作を発表する卒業・修了制作展。
2016　アジアデジタルアート大賞展FUKUOKA	3月 2日～ 3月 7日	6	810	九州大学と福岡県・福岡市などが中心となって主催する「2016アジアデジタルアート大賞展FUKUOKA」の受賞作品を展を開催。16回目の開催となる今回は、世界の国や地域から応募があり、69点が入選。
福岡市書道協会展	3月 9日～ 3月14日	6	1,168	福岡市書道協会会員(福岡展県、福岡市展入賞、入選者で福岡市在住)による漢字、仮名、近代詩文等を形式、大きさをこだわらない自由な楽しい作品にした書道展。
第1回 「国際書画展」	3月16日～ 3月21日	6	600	日中両国芸術家の芸術文化交流のために展覧会を開催。
奥川　水毬パッチワーク教室グループ展	3月16日～ 3月21日	6	1,057	主に、古布(着物、帯、のぼり織等)を利用し、ひと針ひと針パッチワークした作品。 (作品)ベッドカバー、タペストリー、クッション、掛軸、額絵、バック等の小物
第4回　日韓交流展～十人十色～	3月16日～ 3月21日	6	457	「楽しくアート発信しよう」をキーワードに、韓国、日本で活躍する作家が集い様々なジャンルの作品を発表。
第2回　躍動する現代作家展	3月23日～ 3月28日	6	1,355	全国各地より今、精力的に活躍している作家達による作品展。
第21回　福岡市美術連盟展	3月30日(～4月4日)	6	483	福岡市美術連盟会員による作品展示。福岡の美術界で活動する会員200名が、日本画・絵画・彫刻・工芸・彫刻・工芸・写真・グラフィックの6部門に力作を出品。
合計		284	99,167	

貸館展覧会等　8階交流ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
キルト in ライフ　おくむらグループ展	4月 1日～ 4月 5日	5	522	アメリカン　パッチワークの作品展。ベッドカバー、クッション、タペストリー、バッグ、ポーチ　他100点。
ORDINARY	4月 7日～ 4月12日	6	406	風景写真の聖地とも称される絶景の里、北海道美瑛町。四季折々に多彩な表情を見せる丘の風景を卓越した造形感覚と繊細な光の捉え方で表現した、これまでにない美瑛の写真美に出会える写真展。
字解プロジェクト2016・福岡春展	4月14日～ 4月19日	6	480	書・絵画・写真・切絵・陶・草飾といった多彩な表現と漢字の「字解」が共演する展覧会。
金　汶浩　粉青沙器　茶碗展	4月21日～ 4月26日	6	402	陶芸家・金汶浩(キム・ムンホ)は、韓国全羅南道務安郡・月山里芸術村で粉青沙器の伝統を継承し、野趣あふれる作風で知られる。初めての福岡個展では、約70点を展示。
松田芙未子アート表装「游心会」作品展	4月28日～ 5月 3日	6	603	古い着物や帯の美しい紋様をインテリア作品として楽しむアート表装。福岡県内教室で学ぶ受講生と講師及び主宰者松田芙未子の作品約100点を一同に展示。
満園順子　個展	5月 5日～ 5月10日	5	450	日本画　27展
第17回姚明中国水墨画書道展	5月12日～ 5月17日	6	434	この展覧会の作品は水墨山水画の作品に中心して水墨花鳥画も展示。
第1回写遊結人福岡写真展	5月19日～ 5月24日	6	336	福岡市を中心にした写真愛好者のグループ「写遊　結人　福岡」の写真展。
第5回アルシュ展	5月26日～ 5月31日	6	476	クロッキー好きの仲間が切磋琢磨し、様々な表現を試みながら独自の世界を創りあげた。アルシュ17人のエネルギーが満ち溢れた展覧会。
金子　恵　西日本新聞挿絵原画展『連なる視点 モノクロームの世界から』	6月 2日～ 6月 7日	6	770	2013年より3年にわたって西日本新聞に連載された挿絵の原画75枚を展示。
中国現代水墨画画家展	6月 9日～ 6月14日	6	274	湖北省武漢市に住む「郭　世昌」の水墨画の作品展。
暮らしを彩るパッチワークキルト展	6月16日～ 6月21日	6	1,797	「宮崎順子のフローラルキルトバック＆ポーチ」掲載の全作品、NHK国際キルトフェスティバル出展作品、宮崎順子パッチワークキルト教室の生徒達による作品を展示。
私の好きなパターンでつくるパッチワークキルト展	6月23日～ 6月28日	6	844	タペストリー、ミニタペストリー、バッグ、クッション　60点。
90回記念国展福岡展	6月30日～ 7月 5日	6	1,381	1925年梅原龍三郎等によって始められ、戦争激化の1945年に一度中止したほかは、個性を重視し、多様化する表現様式と新しい世代にも呼応する総合美術団体として、毎年約8万人の入場者を得ている。国展福岡展はその巡回展で、絵画・版画・彫刻・工芸・写真五部内の想像力とエネルギーに満ちた世界を展示。
藍と絞り　シボリコミュニティ福岡第16回作品展	7月 7日～ 7月12日	6	403	会員15名のタペストリーと60×60のパネルの展示。
第44回　日本の書展　九州展	7月14日～ 7月18日	5	891	現代書壇を代表する書家の秀作を、会派を超えて一堂に紹介。日本芸術院会員など、書壇の最高峰とされる巨匠17人をはじめ、代表作家や委嘱作家、各県からの選抜作家など441点の作品が並ぶ。
九州日中水墨画研究会第18回書画作品展	7月21日～ 7月26日	6	495	日中文化交流の一端として中国芸術の水墨画を広く発展させ、技術の向上と会員の親睦を深める年1回の交流展。講師、中国著名画家数名と会員による水墨画(黒彩)による山水、花鳥、人物、書等約80点の作品。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
宋軍･黒白之美－水墨山水展	7月28日～ 8月 2日	6	295	宣紙の白さと墨の黒さ、絶妙な色合わせで中国水墨絵画の技を表現した。中国の哲学や文学を水墨技法で十分に発揮し、黒白世界を表した。
蔚山大学校デザイン学部視覚デザイン専攻海外卒業作品展	8月 4日～ 8月 9日	6	261	蔚山大学校デザイン大学のの2016年度卒業制作の作品を展示。
児童絵画展	8月11日～ 8月16日	6	1,097	福岡地区の小学校2年生を対象に、「わたしと先生」というテーマで絵画を募集。応募作品を審査し、約200点の優秀作品を展示。
2016福岡韓国美術大展	8月18日～ 8月23日	6	391	中堅作家と新進作家の作品で調和しながら韓国美術の洋画、東洋画、工芸品、写真、デザインなどの多様な作品に出会える展示。
福岡インディペンデント映画祭	8月25日～ 8月30日	6	759	福岡に国内･海外の招待作品含め、193本の映像作品が福岡に集結。
躍動する現代作家展	9月 1日～ 9月 6日	6	1,393	絵画教室、写真教室や個人など現代活躍している作家が集結。
AFAF AWARDS 2016	9月 8日～ 9月13日	6	955	「アートフェア･アジア･フクオカ 2016（略称:AFAF2016）」の関連イベントとして開催される公募展。
フクオカ･フォトフェスティバル2016韓国交流写真展	9月15日～ 9月20日	6	986	写真を楽しむ人達が自作を発表する写真展。「撮影」する楽しさ、プリント作品を「見せる」楽しさ、中高年からベテランの方々のバリエーション豊かな作品を「見る」楽しさ、約550点の作品を展示。
第6回　松田朴伝　社中展	9月22日～ 9月27日	6	709	書家松田朴伝先生の下で書を学ぶ、大人59人小中高生69人による松田朴伝社中展。文字作品あり墨象（書の抽象作品）ありで現代書の楽しさをアピールし、日頃の練習の成果を発表する場。指導の松田朴伝先生、顧問の古賀竹塘先生を含め130作品の出品。
第15回写真展～四季瞬景～	9月29日～10月 4日	6	1,061	日本風景写真協会は“プロもアマも風景写真を楽しもう”と集い創立15周年迎えた。自然が織り成す四季の移ろいなど原風景を求め、個々の感性表現で瞬景写真を楽しんでいる。
福岡読売写真クラブ　第8回作品展	10月 6日～10月11日	6	693	会員がこの一年間撮影した自信作（風景、自然、祭り）スナップなどプリント（全紙）作品（34点）と「福岡市美術展」などの入賞＆入選作品を特別展示。計57点。
第11回福岡文化連盟祭り「第3回天神アートビエンナーレ」第2回福岡･新世代アートフロンティア	10月13日～10月18日	6	619	福岡文化連盟と外部審査員による審査を経た30人が、才能のほとばしりを発揮。
第46回福岡市高齢者美術展	10月20日～10月25日	6	807	出品者は、福岡市内居住の60才以上のアマチュアの方で、作品部門は「洋画」「日本画」「書」「写真」「工芸」の5部門。
第20回 「曹亜鋼　水墨芸術学院」 福岡地区作品展	10月27日～11月 1日	6	435	中国一級美術師 曹 亜鋼（ソウ アコウ）先生主宰の「曹亜鋼水墨芸術学院」は設立26年を迎え、今回20回目の作品展を開催。伝統的な墨を基調とした水墨画だけでなく、墨と色を重ねていく手法や、様々な新しい技法を使った学院生の作品約70点と曹亜綱学院長の作品約10点を展示。
Pojagi * Sesttam　韓国伝統手芸ポジャギ作品展	11月 3日～11月 8日	6	653	韓国の伝統手芸ポジャギ。元来は余った布を無駄にせず繋ぎあわせて風呂敷や覆い布として再利用していたもの。その豊かな色彩の表情や繊細な手縫いの芸術性は近年高く評価されている。福岡でポジャギ制作活動と文化講師等を務める「Pojagi * Sesttam」主催である劉由美子と受講生の作品を展示。
第37回中央区市民文化祭美術作品展	11月10日～11月15日	6	658	中央区市民の祭り運営委員会では、市民各層の参加による芸術の発表･鑑賞をとおして世代を越えた交流と青少年の健全育成をめざし、美術作品展を開催。「一般の部」と「小･中学生の部」の2部門あり大人から子どもまで幅広い年齢の方々から出品されている。
第32回城南区市民アート展	11月17日～11月23日	7	842	絵画･グラフィックデザイン･書･写真･工芸の5部門で構成され、城南区に居住もしくは通勤･通学する中学生以上の方が出品。約260点の出品。
第39回福岡市退職小学校長会作品展	11月25日～11月29日	5	453	退職後を心豊かに生きようと努めている私共の近況報告を兼ねた作品展。内容は、「書」「絵画」「工芸」「写真」他。
第36回南区美術展	12月 1日～12月 6日	6	749	南区に在住、通勤、通学する16歳以上の方から募集した作品（入選以上）、南区美術協会会員の作品を展示。［分野］絵画、彫刻、書、工芸、写真、グラフィックデザイン。
第一回　行動美術　福岡展	12月 8日～12月13日	6	683	行動美術協会の福岡県在住者による行動本展に出品作品による展覧会。油彩画100～200号の抽象･具象作品28点を展示。
セルロース　ウシジマトモコ　インスタレーション展	12月15日～12月20日	6	443	木･紙･布など身近にあるものを形づくるセルロース、その可能性やおもしろさをインスタレーションで表現。大きいのは25mのクジラの幕絵から小さいものは30㎝程の木偶人形まで100点程の作品で構成。
異界 Spirit World	12月22日～ 1月 3日	6	492	写真展『異界』は、日本全国各地の伝統文化を、祭りや民族芸能を中心として取材した写真展。
第22回福岡県幼児画展	1月 5日～ 1月10日	6	2,772	福岡県内の幼稚園･保育園･保育所に在園する年少児から年長児の作品を募集し選出した450点の入賞作品を展示。
佐伯和子 絵画･オンリーワンジュエリーの豊かな世界　初春　お花に包まれて	1月12日～ 1月17日	6	828	『初春 お花に包まれて』と題し、心に響く感動、融和･和合を表現した絵画･オンリーワンジュエリーの作品展。
第46回世界児童画展　福岡･佐賀県展	1月19日～ 1月24日	6	1,252	日本国内（5万1千点）と海外の43の国と地域からご応募いただいた児童画約7万8千点の中から、入選以上の作品421点（福岡県312点、佐賀県74点海外31点、他県特別賞4点）を展示。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
第13回　国内展　日本結び文化展in福岡	1月26日～ 1月31日	6	1,144	結び、仕服結び、壁飾り、額飾り、水引、ロープ。
平成28年度　博多区文化･芸術展	2月 2日～ 2月 7日	6	718	博多区に在住または通勤、通学している皆さんから応募があった力作、126点を展示。[部門]絵画･写真･書･グラフィック。
夢野久作のアール･ブリュット展	2月 9日～ 2月14日	6	974	夢野久作による世界最初のアールブリュット･コレクション全100点初公開。夢野久作自身のアールブリュット作品 未公開作品を含む全38点公開。
福岡デザイン専門学校 第19回卒業制作展＋アジアデザイン交流展	2月16日～ 2月21日	6	697	福岡デザイン専門学校の第19回卒業制作展と、連携校である台湾の國立彰化師範大學附属高級工業職業學校と華夏技術學院とのデザイン交流展。
第57回　福岡大学美術部展	2月23日～ 2月28日	6	404	油彩、水彩、CG、オブジェ、陶器から計124点を展示する本展示は福岡大学美術部の最大行事であり、4年生にとっては最後の展示となる。
九州大学書道部創部55周年記念展	3月 2日～ 3月 7日	6	395	九州大学書道部の55周年を記念した書道展。現役の部員と歴代の卒業生が約50点の作品を出展。歴史ある古典の臨書から独創的な創作まで幅広く展示。
第28回　福岡教育大学大学院美術教育コース修了制作展	3月 9日～ 3月14日	6	397	福岡教育大学大学院美術教育コース28期生による修了制作品展。この展覧会は、大学院修了生を機に2年間の研究の成果を発表するもので、漢字、仮名の書から漢字仮名交じりの書、工芸的要素のある作品まで計13点を発表。
鶴﨑政志写真展 One Day , in a City…“Mute 2”	3月16日～ 3月21日	6	393	カラー写真30点ほどで構成された作品展。
ふくおかのうみ展	3月23日～ 3月28日	6	1,465	誰も知らなかった「ふくおかの海」をリアルな映像と音声と写真で体感。地元福岡を愛するダイバーたちが、数年間かけて撮りためた膨大な海の記録がひとつの絵巻物になって、この春待望の初公開。
馮　峰　水墨版画芸術展	3月30日(～4月4日)	6	178	馮峰の水墨版画作品、約30点展示。
合計		309	38,015	

活動記録

2016年

4月16日　百花繚乱　中国リアリズムの煌めき 開催
（5月22日まで）

5月11日　受入支援作家ティダラット･チャンタチュア氏来館
（6月9日まで）

5月14日　福岡ミュージアムウィーク開催
（5月22日まで）

5月21日　受入支援研究者パン･ルー氏来館
（6月22日まで）

5月30日　受入支援作家キ･スルギ氏来館
（6月29日まで）

6月20日　受入支援作家プンイサ･シンラパラツァミー氏来館
（7月30日まで）

7月26日　おいでよ！絵本ミュージアム2016 開催
（8月21日まで）

9月 7日　招聘作家ジュリアン･エイブラハム･“トガー”氏来館
（12月5日まで）

9月12日　招聘作家ロー･イーチュン氏来館
（12月6日まで）

10月22日　博多リバレイン灯明開催
（「第22回博多灯明ウォッチング2016」同時開催）

2017年

1月 2日　冬のおとなミュージアム　「超☆現実」－演じる写真 開催
（3月21日まで）
ミュージアム･カフェ　グランド･オープン

1月11日　招聘研究者テッサ･マリア･タン･グアゾン氏来館
（3月21日まで）

2月18日　アート横断Ⅴ　創造のエコロジー開催
（3月21日まで）

活動記録　［調査研究活動］

中尾智路

【展覧会企画】
2016. 4.21- 7.12　コレクション展「瞑想の森」
2016. 8.25-12.25　コレクション展「タイム・トラベル―美術で知るフィリピン」
2017. 2.18- 3.21　小企画展「アート横断Ⅴ　創造のエコロジー」
【そ の 他】
2016. 6　国際芸術センター青森アーティスト・レジデンス・プログラム選考会審査員
2016. 7　佐賀大学大学院地域デザイン研究科 非常勤講師
2016.10　アジアデジタルアート大賞展審査員

五十嵐理奈

【展覧会企画】
2016. 9. 8-12.25　コレクション展「心の旅、ベトナム―日本の美術コレクター寄託作品より」
2017. 1. 2- 3.21　コレクション展「冬のおとなミュージアム『超☆現実』－演じる写真」
【 執 筆 】
2016. 4　「ダッカ（ワールドニュース）」『美術手帖』Vol.68、No.1035、2016年4月号、pp.140-141
2016. 5　「アジアの2000年代―プレゼンスを際立たせるアジアの現代美術」、「美術検定」実行委員会編『続　西洋・日本美術史の基本（美術検定　1・2級公式テキスト）』pp. 148-149
2016. 6　「検閲をくぐりぬけ、表現の自由はいまどこへ」『美術手帖』Vol.68、No.1037、2016年6月号、p.61
2016.12　「政治・運動と視覚表現―循環するバングラデシュの独立戦争イメージ」『国立新美術館研究紀要』3号、pp. 62-81
2017. 2　‘Biennale, and its Aftermath—In the case of the 5th Fukuoka Asian Art Triennale 2014’, “ PyeongChang Biennale 2017（図録）”, pp. 286-289
【 講 演 等 】
2016. 4. 2　「ダッカのアートシーンについて」『福岡で聞く、アジアのアート最前線：トーク＆座談会』Asian Arts Air Fukuoka主催、九州大学六角堂（福岡）
2016. 8.26　‘The Circulation of FAAM Activities: Residence Program’, “Panel: International Artist in Residence Program 2016 OPEN TO YOU”, Openspace Bae （釜山）
2016.11.11　「ミャンマー現代美術と社会の交差点―ガンゴー・ヴィレッジ・アート・グループ（1979-）の活動から」『アジア・アーツマネジメント会議研究会』アジア・アーツマネジメント研究会主催、ココルーム（大阪）
2016.12.13　‘The Circulation of FAAM Activities: Residence Program’, “Soni-Mongol Adda”, Tok Restaurant (ダッカ、バングラデシュ)
2017. 2.18　‘Biennale, and its Aftermath—In the case of the 5th Fukuoka Asian Art Triennale 2014’, “Pyeongchang Biennale: International Seminar ‘The Present and the Future of the Biennales in Asia’ ”, Gangneung Green City Experience Center （江陵、韓国）

趙純恵

【展覧会企画】
2017. 1. 2- 5. 9　コレクション展「アニッシュ・カプーアとインドのかたち」
2017. 3.23- 6.27　コレクション展「光をつかまえて」

蒲池昌江

【 執 筆 】
2017. 3　「アーティストとの出会いがもたらすもの―福岡アジア美術館におけるアーティスト・イン・レジデンスの事例から」 九州大学大学院統合新領域学府　修士論文
【 講 演 等 】
2016. 8. 4　夏の職員研修「思考力を高める鑑賞教育 ～VTS方式による対話型鑑賞」 福岡市立有田小学校　福岡アジア美術館
2017. 3. 5　「福岡アジア美術館のボランティア活動について」 全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）2017大野城まどかぴあ

【 そ の 他 】

2016. 9.～2017. 1	中村学園大学教育学部　非常勤講師

岩本史緒

【 企 画 】

2016.11.20	周防大島×北九州 島ミュージカル・プロジェクト
2016.11.27	踊って!!京町（北九州市小倉北区京町銀天街におけるコミュニティ・ダンス・プロジェクト）

【 執 筆 】

2016.12	「歩きつづけること、関わりつづけること：足立正生と今日の『風景論』」、『LANDSCAPE/REAL/ESTATE』（展覧会テキスト（日本語・英語））、2016年

【 講 演 等 】

2016.12.17	「日常×ことづくり」まちが動きだす間のデザイン、Willeto（福岡）（九州大学芸術工学府同窓会「渾沌会」によるトーク）
2017. 1.14	“On Landscape Film by Masao Adachi,” Speedy Grandma（バンコク）
2017. 1.29	“On Landscape Film by Masao Adachi、” シンポジウム「ランドスケープの現在」、東京藝術大学

【 そ の 他 】

	英語監修
2016.12	『LANDSCAPE』（展覧会カタログ）、AIK北九州、2016年
	通訳
2016.10. 3	国際シンポジウム「大学と美術の可能性を求めて」九州大学

柏尾沙織

【展覧会企画】

2016.10. 6～12.25	コレクション展「アートでつながる―東南アジアの美術グループ」

名簿

福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

水沢	勉	神奈川県立近代美術館館長
後小路雅弘		九州大学大学院人文科学研究院教授
小勝	禮子	近現代美術史研究家・美術批評家

福岡市美術館協議会委員（福岡アジア美術館を含む。）

会長	後藤 新治	西南学院大学国際文化学部教授
副会長	植野かおり	立花家史料館館長
委員	納屋 亮	西長住小学校校長
〃	田畑 弘行	北崎中学校校長
〃	宮崎 信介	博多工業高等学校校長
〃	大森 節子	（公社）福岡市老人クラブ連合会理事
〃	木内 潤子	福岡市社会教育委員
〃	長嶋 りさ	福岡市PTA協議会副会長
〃	河合 昭江	福岡市青少年団体連絡会議副会長
〃	李 善姫	韓国語講師
〃	後小路雅弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
〃	宇田川宣人	アジア美術家連盟日本委員会日本代表
〃	浦上 雅司	福岡大学人文学部教授
〃	西高辻信宏	太宰府天満宮権宮司
〃	原田 真紀	ママとこどものアートじかんプロジェクト代表
〃	藤枝 守	九州大学大学院芸術工学研究院教授
〃	松尾 さち	社会福祉法人 JOY 明日への息吹 JOY倶楽部アトリエブラヴォ職業指導員
〃	室岡 祐司	九州産業大学商学部観光産業学科講師

福岡アジア美術館職員

館長	森 英之
運営部長	黒田 雷児
運営課長	西島 雅一
運営係長	鍋田 憲孝
事務職員	上橋 修治
事務職員	小島 美香
事務職員	大庭 隼人
嘱託員	矢野 隆俊
嘱託員	高木 寿子
嘱託員	藤田日出子
学芸課長	黒田 雷児
収集展示係長	ラワンチャイクン寿子
学芸員	五十嵐理奈
学芸員	趙 純恵（平成28年10月1日から）
交流係長	中尾 智路
学芸員	金子 裕子（山本 裕子）
嘱託員	荒木 信博
嘱託員	蒲池 昌江
嘱託員	岩本 史緒
嘱託員	久保 沙織（柏尾 沙織）
嘱託員	松浦 仁

発　行　2018年3月
福岡アジア美術館
福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
http://faam.city.fukuoka.lg.jp
デザイン
印　刷　城島印刷株式会社
著作権　福岡アジア美術館
2018年（禁無断転載）

この紙は地球環境保護のため、
再生紙を使用しています。

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum